

国語(1年) R5 年間指導・評価計画

教科の目的

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりできるようにする。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにできるものにする。
- 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	朝のりレー	2	言葉	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	野原はうたう	5	言葉	情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	漢字の筆使い	3	書写	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。		進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って書こうとしている。
5	シンシユン	4	読むこと	登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進め	場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとし
	情報を的確に聞き取る	1	話すこと・聞くこと	5W1Hに注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。	日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。	進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている
	情報整理のレッスン	1	情報	情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりし		学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おう
	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	4	書くこと	集めた情報を、親点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。	目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
	漢字1 漢字の組み立てと部首 楷書に調和する仮名	1	言葉	漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べ		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6	ダイコンは大きな根?	2	書くこと	楷書に調和する仮名を使いや字形に注意して、整えて書いて		積極的に楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意し、学習課題に沿って書こうとして
	ちよっと立ち止まって	3	読むこと	本文中で比較がどのように使われているかを理解している。	「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。	文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
	思考のレッスン1 意見と根拠	1	言葉	筆者の主張と事例との関係を理解している。	序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	話すこと・聞くこと	説得力のある根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解して		学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
	漢字に親しもう2	1	言葉	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチ	聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
	漢字に親しもう2	1	言葉	小学校で学習した漢字の熟語を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。	聞き手を意識して話題を決め、話の内容を選んで整理している。	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
7	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう	2	言葉	文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解して		単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
	文字の大きさと配列	2	書写	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。		進んで要旨に合った文字の大きさ、配列などについて考え、学習課題に沿って小筆で書こうとしている。
	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	3	情報	グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたやや典典の示し方を理解している。	調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。	引用のしかたやや典典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
	詩の世界 [書く]詩を作ろう	3	書くこと	詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
9	比喩で広がる言葉の世界	2	読むこと	表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。	文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	各段落の役割を理解し、要旨を捉えている。
	言葉1 指示する語句と接続する語句	2	言葉	指示する語句と接続する語句の役割を理解している。		進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
	言葉を集めよう もっと「伝える」表現を目ざして	1	言葉	言葉を集め、似た意味の言葉や修飾する言葉を考え、伝えたいことに合う的確な言葉を探している。		今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
	読書を楽しむ 本の中学生	2	言語文化	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。		今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。
9	1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上			・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)
	大人になれなかった弟たちに…	4	読むこと	戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。	描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
	星の花が降るころに	5	読むこと	様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをとえているのか考えている。	場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を深く読んでいる。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
	聞き上手になろう 質問で話を引き出す	1	話すこと・聞くこと	話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	話し手のスピーチに耳を傾け、聞いたことを基に、質問のしかたを工夫して聞き、対話をしながら話を十分に理解しようとしている。	進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
	項目を立てて書こう 案内文を書く	2	書くこと	情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。	伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理して案内文を書いている。	集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。
	[推敲]読み手の立場に立つ	1	書くこと	正確でわかりやすい表現に書き改めている。	読み手の立場に立って、誤記はないか、表現は適切か、伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。	粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
	読みやすく速くかための行書	2	書写	漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。		積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合おうとしている。
	言葉2 方言と共通語	2	言語文化	共通語と方言の役割や特徴について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
	漢字2 漢字の音訓	1	言葉	漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	4	読むこと	筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。	筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン2 原因と結果	1	言葉	原因と結果がどうつながっているかを整理し、二つの関係について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。	

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
10	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く		書くこと	情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。	自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。	文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。						
	[話し合い] 話し合いの展開を捉える	1	話すこと・聞くこと	「上達のポイント」にある「根拠を述べる」「前の人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。	話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し、課題に沿って発言内容を考えている。	進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。						
	漢字に親しもう3	1	言葉	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。						
	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	4	話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。	話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。	積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。						
11	音読を楽しもう 大阿蘇	1	読むこと	詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。	繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。						
	音読を楽しもう いろは歌 蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	5	読むこと	音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし、古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。	「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。						
	今に生きる言葉 [書] 故事成語を使って体験文を書こう	2	読むこと	音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。	「矛盾」や「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 「矛盾」と自分の体験とを重ねて、書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。						
	丸み・点画の連続・変化	5	書写	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いて		進んで行書の基礎的な書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。						
12	「不便」の価値を見つめ直す [書] 根拠を明確にして、意見をまとめよう	4	書くこと 読むこと	意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。	目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。 賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。	積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。						
	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く	2	書くこと	書評を書き、助言し合う活動を通して、読書の意義を理解している。	読み手からの助言を踏まえて、自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。	読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を進んで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。						
	漢字に親しもう4	1	言葉	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。						
	文法への扉2 言葉の関係を考えよう 読書案内 本の世界を広げよう	2	言葉	「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。 読書の意義(＝読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解している。	筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き、考えたことをグループで発表し合う活動を通して、自分の理解を確かめている。	単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。						
2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上				・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)						
1	少年の日の思い出 [書] 別の人物の視点から文章を書き換えよう	6	読むこと 書くこと	場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。	時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめている。 登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。	文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。						
	文法への扉3 単語の性質を見つめよう	2	言葉	「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。						
	随筆二編	2	読むこと	「空の描写」や「父親とのやりとり」がどのように表現されているかを理解している。	場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。						
2	漢字に親しもう5	1	言葉	小学校で学習した漢字を使って文章を作り、中学校で学習する漢字の読み方について理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。						
	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4	書くこと	体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。	読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。	粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。						
	言葉3 さまざまな表現技法	2	言葉	比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。		積極的に比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。						
3	漢字3 漢字の成り立ち	1	言葉	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。						
	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	5	話すこと・聞くこと 書くこと	声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまと	聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 「観点」に見合った情報を集め整理し、内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。	集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。						
	さくらの はなびら	1	読むこと	詩に用いられている表現の技法を理解して使っている。	詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。						
	学習を振り返ろう	3	読むこと 離すこと・聞くこと 書くこと	曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。 課題にある方言の例を読み、共通語と方言の果たす役割について理解している。	温暖化による流水の減少が、環境に与える影響について、網走気象台の観測記録からわかった事実を二つに分けて書いている。 「……という警告。」で終わる形になるように、筆者の示した情報と自分の考えを結び付けて書いている。 話すときは、聞き手の反応を踏まえて、伝えたいことが伝わるように表現を工夫している。	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。						
季節のしおり	1	書写	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。		積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして書こうとしている。							
2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上				・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)						

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりできるようにする。
- 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	見えないだけ	1	言葉	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	アイスマラネット	4	読むこと	登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。	「ぐちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。	積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	[聞く]問いを立てながら聞く	1	話すこと・聞くこと	提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。	提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。	進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
	点画の省略	3	書写	漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。		進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。
5	枕草子 [書く]自分流「枕草子」を書こう	3	読むこと 話すこと・聞くこと	現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。	作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	1	情報	問題1～3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。		学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。
	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	5	書くこと	集めた情報を表や図にまとめ、整理している。	調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを選択している。	粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しよう1	1	言葉	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	クマザミ増加の原因を探る	4	読むこと	文章が六つの部分できていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。	筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解している。文章中の図表やグラフのために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。	積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
6	筆順の変化	3	書写	漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。		進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。
	思考のレッスン1 具体と抽象	1	情報	問題1、2に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。		学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	話すこと・聞くこと	相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。	アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。	粘り強く自分の考えがわかりやすくなるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
	漢字に親しよう2	1	言葉	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉1 単語をどう分ける？	2	言葉	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。		今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
7	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	3	読むこと 書くこと	情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。	適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
	行書に調和する仮名	3	書写	行書に調和する仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。		進んで行書に調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。
	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう	4	読むこと 書くこと	情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生きて伝わる言葉を選んで短歌を創作している。	複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。	進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
	言葉の力	2	読むこと	言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。	進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	言葉1 類義語・対義語・多義語	2	言葉	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。		今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義語の意味を表す語句などについて理解しようとしている。
9	言葉1 類義語・対義語・多義語	2	言葉	抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考慮することを通じて語感を磨いている。		今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
	言葉2 敬語	1	言葉	敬語を使う生活場を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。		進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
	翻訳作品を読み比べよう	2	言語文化 読むこと	翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。	二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。	進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
	読書を楽しむ	1	言語文化	活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んできたいかを考えている。		本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上			・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)	
9	盆土産	4	読むこと	登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。	登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。
	字のない葉書	3	読むこと	表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。	前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	1	話すこと・聞くこと	どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。	話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。
	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	3	書くこと	何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けってもらえるかを考えている。相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。	自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。	積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。
	[推敲]表現の効果を考える	1	書くこと	手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。	読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちにより伝わるような表現に書き改めている。	粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
9	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しよう	1	言葉	文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。		学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	行書と仮名の調和	3	書写	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。		進んで行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。

月	単元・題材名	時数	学習内容	主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10	モアイは語る 地球の未来	4	読むこと 筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。	文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。	粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	
	思考のレッスン2 根拠の吟味	1	情報 問題1, 2に取り組み、根拠を吟味している。		今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	
	根拠の適切さを考えて書く 意見文を書く	4	書くこと 自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。	根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書くようとしている。	
	漢字に親しもう4	1	言葉 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	[討論]異なる立場から考える	1	話すこと・聞くこと 賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる①～⑧の事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。	同じ情報を基にしたしり、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気づいている。	進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。	
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	4	話すこと・聞くこと 説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。	地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを尊重しながら考えをまとめている。 互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。	進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	
	音読を楽しもう 月夜の浜辺	1	読むこと 詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。	詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その効果を考えている。	進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。	
源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	1	言語文化 漢語を交えた独特の調子やリズムを捉えて朗読している。 冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。		進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。		
扇の的 ——「平家物語」から	3	読むこと 古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。	「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。	進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。		
仁和寺にある法師 ——「徒然草」から	3	読むこと 書くこと 古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。 現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。	法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。 文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。	積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書くようとしている。		
漢詩の風景	3	読むこと 漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。	好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。	進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。		
「デザインと文字」を考えよう 楷書と行書の使い分け	2	書写 目的や必要に応じて、文字を選んで書くことの意義を理解している。		進んでテレビ番組のタイトルの文字を選び、学習課題に沿ってそれぞれの印象や文字を選んだ理由を話し合おうとしている。		
12	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	4	読むこと 筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい」(抽象)と述べているのかを理解している。 二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。	二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。 文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。	
	魅力有效果的に伝えよう 鑑賞文を書く	2	書くこと 作品の魅力や魅力を伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。	作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。 友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。	進んで表現の効果を考え、描き出し、今までの学習を生かして鑑賞文を書くようとしている。	
	漢字に親しもう5	1	言葉 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	2	言葉 用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。	
	読書案内 本の世界を広げよう	1	言語文化 読むこと 教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。	教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)	
1	走れメロス 「書く」作品の魅力をもとめ、語り合おう	6	読むこと 書くこと 作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。	「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。 「メロス」の行動や考え方で共感できたりできなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。	
	文法への扉3 一字違いで大違い	2	言葉 助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。		今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。	
	漢字に親しもう6	1	言葉 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
2	構成や展開を工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く	4	書くこと これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。	起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。	
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	5	話すこと・聞くこと 書くこと 結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。 壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見や、表などを用いてまとめている。	壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。 伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。 読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。	
	漢字3 送り仮名	2	言葉 送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。	
	言葉3 話し言葉と書き言葉	2	言葉 話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。		今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。	
3	木	2	読むこと 「愛」「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中の意味を考えている。	自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。	進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。	
	学習を振り返ろう	3	読むこと 話すこと・聞くこと 書くこと 相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。 敬語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。 根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。	教科書の「アイスプラネット」と長編版「アイスプラネット」とを比較して読み、登場人物の違いによって、どんな展開の可能性が加わるかを考えている。 「卒業生に贈る言葉」についての大川さんの提案を論理的展開に注意して聞き、話し手の伝えたいことを捉えている。 気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを書いている。	進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。	
	季節のおしり	1	書写 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。		積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして書こうとしている。	
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)	

国語(3年) R5 年間指導・評価計画

教科の目的

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりできるようにする。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	世界はうつくしいと握手	1	言葉	詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。		進んで語感を磨き、友達や今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとし
		4	読むこと	時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。	「現在」と「回想」の部分を読み分け、物語の展開のしかたの効果について考えている。文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
		1	話すこと・聞くこと	根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。	自分の意見と根拠を明確にし、相手の立場から予想される反論についても考えている。立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理してメモを取り、根拠の適切さや自分の考えとの違い、取り入れたい表現などを孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	聞き取った内容や表現のしかたを自分で評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。
5	学びて時に之を習ふ——「論語」から	2	言語文化	教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。		人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	1	情報	情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。		学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
	文章の種類を選んで書こう	4	書くこと	随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。	題材を選び、その題材に関する情報や図表、写真を集め、出典を明らかにして記事の中で活用している。担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し、その種類に合わせた文章の構成や表現を工夫している。	進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	1	言葉	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	作られた「物語」を超えて	3	読むこと	ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。	論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。
全国文字マップ	2	書写	身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。	身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている。	
6	思考のレッスン 具体化・抽象化	1	情報	具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。		具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	4	話すこと・聞くこと	情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切に確認して、必要な情報を集めている。	話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
	漢字に親しもう2	1	言葉	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れていく。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉1 すいかは幾つ必要？	1	言葉	既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えている際のポイントになることを理解している。		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	3	情報/読むこと	実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。	事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。読み手に必要な情報を過不足なく伝えているが、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているが、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどに着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。観点ごとに情報を整理し、着眼的に参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。	
7	俳句の可能性 俳句を味わう 俳句を作ってみよう	3	言語文化/読むこと/書くこと	俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。伝えたいことが効果的に伝わる構成(語順)を考えて、俳句を創作している。自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目指して	1	言葉	古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つけている。		時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。
	言葉1 和語・漢語・外来語	1	言葉	和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けられている。		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
	読書を楽しむ	1	言語文化	さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。		進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
	「私の一冊」を探しにいこう	1	言語文化	本のさまざまな探し方について理解し、興味もてるような本を見つけている。		登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。
文学の使い分け	1	書写	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさや触れ、効果的に文字を書いている。	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	積極的に「明朝体・ゴシック体・手書き文字」の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとしている。	
1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上			・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)	
挨拶 原爆の写真によせて	2	読むこと	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。	詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	
故郷	5	読むこと	文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。	自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べ	粘り強く話を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	
聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1	話すこと・聞くこと	話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。	自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。	粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。	
[推敲]論理の展開を整える	1	書くこと	「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。	課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。	
言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1	言葉	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。		積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。	
漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	1	言葉	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
10	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	3	読むこと	自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。	二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。	積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。						
	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	4	書くこと	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。	粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書くようとしている。						
	漢字に親しもう4	1	言葉	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。						
	[議論]話し合いを効果的に進める	1	話すこと・聞くこと	全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えようとしている。	話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。						
三年間のまとめ	2	書写	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	毛筆で「探究」「輝ける未来」を書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って「探究」「輝ける未来」を書こうとしている。							
11	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4	話すこと・聞くこと	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。	提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。						
	音読を楽しもう 初恋	1	読むこと	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。	文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。						
	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	1	言語文化	「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。		進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。						
	君待つと ——万葉・古今・新古今	2	言語文化	三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。	心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。	進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書くようとしている。						
夏草 ——「おくのほそ道」から [書]古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう 私の好きな言葉	4	言語文化/書くこと	作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。	芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。							
誰かの代わりに	1	読むこと	抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。	文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。							
情報を読み取って文章を書く グラフを基に小論文を書く	2	書くこと	具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。	資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書くようとしている。							
漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	1	言葉	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。							
文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	1	言葉	「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。							
本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 季節のしおり3	1	言語文化	二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。	読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。	進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。							
	1	書写	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。							
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)						
1	温かいスープ	3	読むこと	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。	自分の生き方や作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。						
	わたしを束ねないで	2	読むこと	言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。						
2	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	6	書くこと/話すこと・聞くこと	目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。 相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えて音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。	相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。 自分の考えがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。	粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。						
	漢字に親しもう6	1	言葉			学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。						
3	学習を振り返ろう	4	読むこと/話すこと・聞くこと/書くこと	相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。 目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。	文章に表れているものの方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。 目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。 自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換え	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。						
	冊子にまとめてよう	5	書写	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして学校や部活動の魅力伝える冊子を作ろうとしている。						
	[発展]なりきり、書聖・王羲之	1	書写	高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。	「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相異点について考える。	積極的に先人の筆跡に関心をもち、学習の見通しをもって「蘭亭序」をなぞろうとしている。						
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・小テスト ・定期考査 ・書写	・言語活動(スピーチ、聞き取り、話し合いなど) ・作文、作品 ・定期考査	・ノート、ワークシート、作文、作品 ・授業観察、振り返り ・家庭学習(レポート、ワーク)						